

世界地図で見る日本の位置と北海道

日本の緯度と経度 図1

日本の緯度は、およそ北緯20度から北緯45度のあいだにあり、緯度差は25度で北半球の約28%の幅に広がっている。また日本の経度は、およそ東経123度から東経154度のあいだにあり、経度差は31度で、経度が15度で1時間の時差があるため、日本は東端から西端まで2時間の時差があるといえる。

また、オーストラリア大陸の国土の大部分とほぼ同じくらいの緯度差であり、日本は、かなり大きな緯度・経度の幅を持っているといえる。

日本と北海道の位置、世界の同緯度都市 図2、3

① 日本は南欧（南仏、イタリア、スペインなど）や北アフリカと同緯度に位置しており、北海道はバルセロナ、ミラノ、トリノなどと同緯度にある。

ドイツ、イギリスはまだまだ北に位置する。

② 南北3,200kmの日本列島はアメリカ合衆国の南北に迫る距離があり、日本は世界的スケールで南北に長いことがわかる。

同緯度諸国と日本の気候比較 図4

日本や北海道と同緯度の世界の地域は南欧や北アメリカであり、日本が意外にも北半球の南寄りに位置している。これら同緯度諸国で最も驚かされることは、気候である。日本と同緯度の南欧や北アフリカは一年中比較的暖かい地中海性気候である。しかもはるか北に位置するイギリスやドイツなどの国々も暖流からの偏西風の影響を受けるため、緯度のわりに気温は高い（西岸海洋性気候）。

日本の中でもイギリスやドイツよりもさらに南に位置する北東北や北海道は、気候区分では冬の寒さの厳しい亜寒帯（冷帯）湿潤気候に属する。最寒月の平均気温が-3℃を下回り、冬は根雪になるのが特徴である。亜寒帯湿潤気候の中で日本は世界の最南限のひとつである。



図1 日本とオーストラリアを重ねたイメージ ※日本地図は、国土地理院ホームページの日本地図を簡略化して作成。



図2 日本と南欧を重ねたイメージ



図3 日本とアメリカを重ねたイメージ

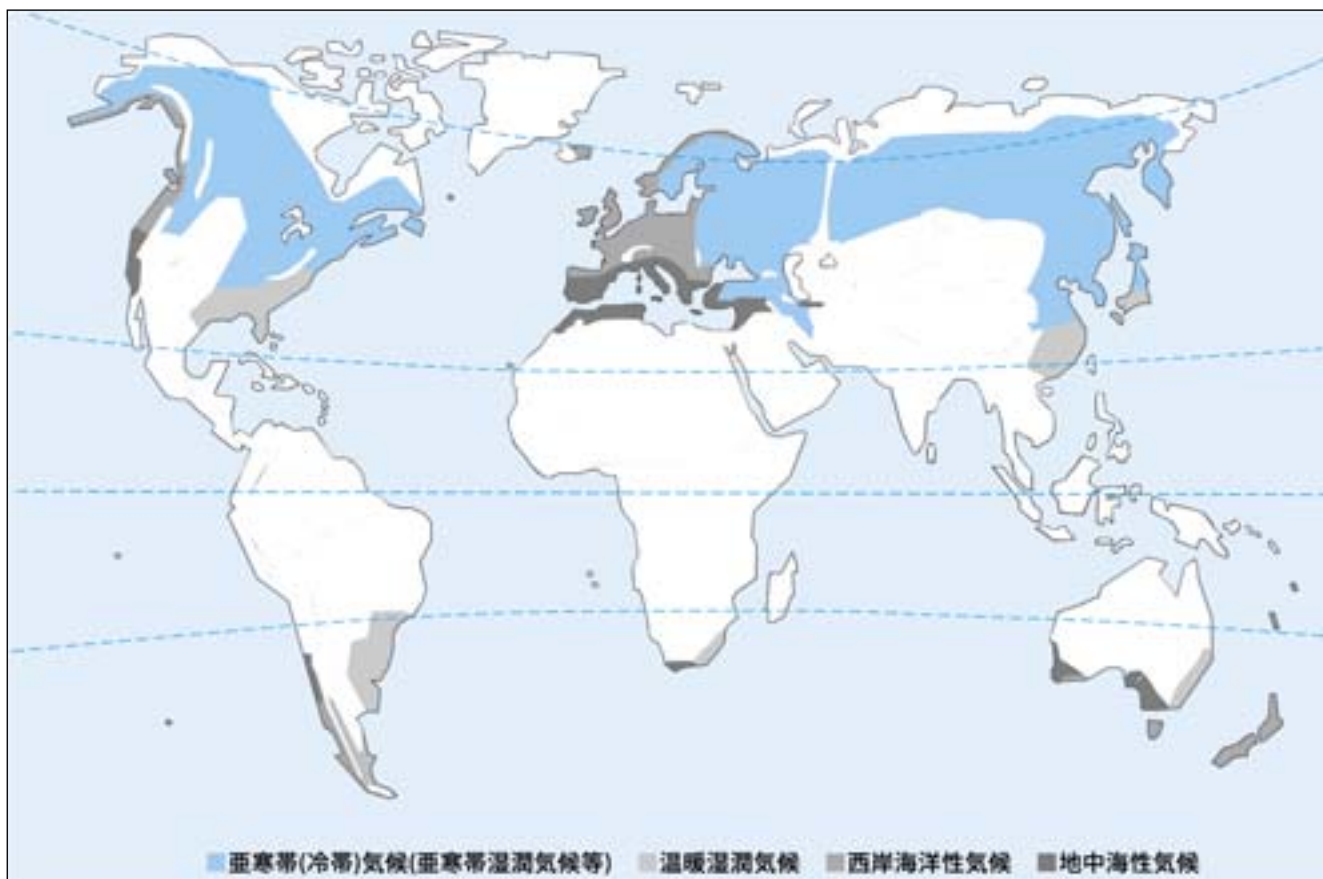


図4 日本と同緯度近辺の気候イメージ ※この図は、ケッペンの気候区分を参照し、模式化して作成。